

第一貨物 一人ひとり自立を 困難乗り越え成長

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は1日、入社式を行い、2015年度より3人多い65人の新入社員を迎え入れた。事務職19人、整備職10人、運転職は大卒3人を含め36人だった。

武藤社長が「当社は3月に75周年を迎えた。皆さんには、100年企業を中心に成るよう頑張ってもらいたい。貨物輸送の大半はトラックであり、言わば、我々が国民生活や産業経済を守っている。誇りを持って仕事に臨んで欲しい」と強調。

更に、「特積事業は一人で完結する仕事ではない。バトンリレーのように、一人ひとりが完璧に役割を果たすことで完結する。大事なのは一人ひとりの自立だ。心を一つにして、一つのサービスをつくり上げる。それが当社の品質であり、皆さんの仕事だ」と心構えを説いた。

最後に、「これから多くの困難や壁が立ちほだかるだろうが、逃げずに乗り越えて欲しい。それが自身の成長につながる。立派な社員、社会人になることを願う」と訓示。

新入社員を代表して、及川幸希氏が「社内外から信頼を得られるよう仕事に取り組み、自己研さんに努めたい」と答辞を述べた。

(黒田秀男)

新入社員を代表して答辞を述べる及川氏

